

令和7年度 北上中学校教職員 働き方改革アクションプラン

北上中学校では、「北上市教職員働き方改革プラン(R7~9年度版)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

[定量的現状]

- ◆ 「北上市教職員働き方改革プラン(R7~9年度版)」目標達成状況について
「時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。」
 - ・R7年度目標:8人(R6年度:10人)
- 「時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。」
 - ・R7年度目標:3人(R6年度:5人)

[定性的現状]

- 教職員の意識
 - ・当校で推進する「遅い時でも20時退勤」が全教職員に浸透している。
 - ・時間外勤務している教職員が固定している。
- 管理職のマネジメント
 - ・新たな業務が発生した際、スクラップアンドビルドの視点を持って業務見直し等の対応を行っている。

2 目標・目指す姿

<R7年度目標>

- 北上市教職員働き方改革プラン(R7~9年度版)」に掲げるR7年度の目標を達成します。
- 本校に勤務する先生方のウェルビーイングの意識を向上します。

<目指す姿>

- ・ こどもたちへの質の高い教育を持続的に提供し得る観点から働き方の見直しが図られている。
- ・ 業務改善について、教員から積極的に提案がなされている。
- ・ 働き方改革に係る課題について、学校全体で共有し、その解決を図る場が定期的に設定されている。
- ・ 管理職が日頃から、教職員に対しワークライフバランスの声かけを行っている。
- ・ 教職員が、休養と修養の時間を十分に確保できている。
- ・ 教職員がいきいきとやりがいをもって、子どもたちに向き合うことができている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

○ 教職員の健康管理

- ・ 働き方改革プランの在校等時間削減に向けた取組を確実に実施し、教職員の健康を確保します。
- ・ 個々の職員が業務の効率化・削減を進められるよう、管理職が積極的に声掛け・支援を行います。
- ・ 月の途中で月の時間外在校等時間が80時間超となった教職員に対して、当該時間を知らせるとともに、健康確保の観点から、面談を行います。
- ・ 健康相談事業等、職員の状況に応じ、共済保健事業についての活用を促進します。

○ 学校における業務改善の推進

- ・ 各分掌を複数配置にし仕事の内容を削減し効率のよい業務となるよう工夫します。
- ・ 定期的に、学校における働き方の取組状況を振り返る場を設定しています。(安全衛生委員会等)
- ・ 学校行事については、職員全体で常に検討し、内容や取り組み期間等精選と見直しを図ります。
- ・ 会議の進め方について校務パソコンを活用したペーパーレス化と勤務時間内での進行に努め合理化を図ります。

○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・ ボランティア等、生徒の参加する行事については、保護者や地域の理解・協力を得て対応します。
- ・ 教職員参加の地域行事等について、学校の実情を踏まえて精選等を行います。
- ・ 働き方改革に向けた取組について、保護者の方に理解していただけるよう広報等で周知します。
- ・ 部活動については、学校の指導方針や働き方改革についてコーチ等の理解を促すとともに、日頃からよりよい関係づくりに努めます。

令和7年4月1日 北上中学校長 新井野 邦夫

(参考)「北上市教職員働き方改革プラン(R7~9年度版)」(抜粋)

【策定趣旨】

- 働き方改革の実現により、未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの目標】市内小中学校の教員の時間外在校等時間の縮減

- (1) 時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。

〔・令和6年度実績(6月調査) 228人 割合 42.0%〕

- (2) 時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。

〔・令和6年度実績(6月調査) 27人 割合 5.0%〕